

報道関係者各位

令和7年9月9日
山梨県男女共同参画・多様性推進課
課長 古屋 明子
電話 055-223-1539 (内線 1250)

外国人住民と共に学ぶ防災教室を韮崎市で開催します ～地域日本語教室と連携し、災害時の行動や避難所体験を実施～

山梨県では、多文化共生社会の実現に向けた取り組みの一環として、災害時における外国人支援体制の強化を進めています。

このたび、外国人住民を対象に、日本で発生する災害や発災時の行動、避難場所等に関する知識を深める防災教室を開催します。企画・運営は（公財）山梨県国際交流協会が担い、韮崎市地域日本語教室と連携して実施します。

本教室では、講話や避難所体験、防災食の調理などを通じて、外国人住民の「防災力」の向上を図るとともに、災害時の「支援の担い手」としての意識醸成も目指します。

■ 開催の背景

能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報などを受け、平時からの防災・減災への備えの重要性が再認識されています。山梨県でも外国人住民の増加が続く中、災害時の情報格差や支援の課題が顕在化しており、外国人住民自身の防災力向上が急務となっています。

また、外国人住民が地域の「支援の担い手」として活躍する可能性も高まっており、本教室ではそのマインドセットの醸成も図ります。

○日時：令和7年9月13日（土）18：30～20：30

○場所：韮崎市民交流センター NICORI（ニコリ） 会議室5・6

○対象：韮崎市地域日本語教室の学習者および地域住民ボランティア30名程度

○主催：山梨県（企画・運営：（公財）山梨県国際交流協会）、協力：韮崎市

○内容：

1. 講話「防災研修会」

自然災害の種類や災害時の対応方法の学習、ハザードマップの操作体験等

2. 教室活動「防災食を作ってみよう」「避難所体験」

避難所生活の疑似体験（アルファ米の調理・試食や段ボールベッドでの就寝体験）

3. 教室活動「わが家の、わたしの備えを考える」

各自の非常持ち出し袋の中身の確認、個人の備えに係る意見交換

4. 教室活動「まとめの活動」

防災アプリのダウンロードや振り返り

取材を希望される場合は、男女共同参画・多様性推進課（TEL：055-223-1539）まで事前にご連絡をお願いいたします。